

有用植物等を用いた湖沼水質浄化に関する研究 - 三方湖周辺における流入汚濁負荷の低減 - (H23～25年度)

実施主体：衛生環境研究センター

担 当：水質環境研究G

連携機関：福井県農業試験場

1 研究の目的・必要性

三方湖の水質は、環境基準を達成できていない状況にある。このような中、近年、水生植物を用いた水質浄化手法が注目されており、三方湖に流入する高汚濁水を重点的に浄化することで、流入汚濁負荷を削減し、三方五湖の水質改善を図る必要がある。

そこで、食用または観賞用として有用な植物等を選定し、栽培条件や浄化能力の検討を行い、三方湖周辺において有用植物等を用いた水質浄化の実用化に向けた研究を行う。

2 研究項目・内容・年度計画等

研 究 項 目	研 究 内 容	実 施 年 度		
		H23	H24	H25
有用植物等を用いた 水質浄化法の検討	・栽培条件の検討 ・水質浄化試験の実施	有用植物等の絞り込み	模擬水による浄化試験 プラント試作機 による予備試験	高汚濁水を用いた栽培プラント による浄化試験
有用植物等栽培 適地条件の検討	・高汚濁負荷地点選定	基礎調査	詳細調査 高汚濁負荷地点選定	
事業費（千円）	試験研究事業	2,601	6,182	4,500

3 期待される成果等（成果目標）

三方湖周辺の高汚濁負荷水路からの有用植物による窒素、りん流入量削減技術を開発し、湖沼の水質改善を図る。

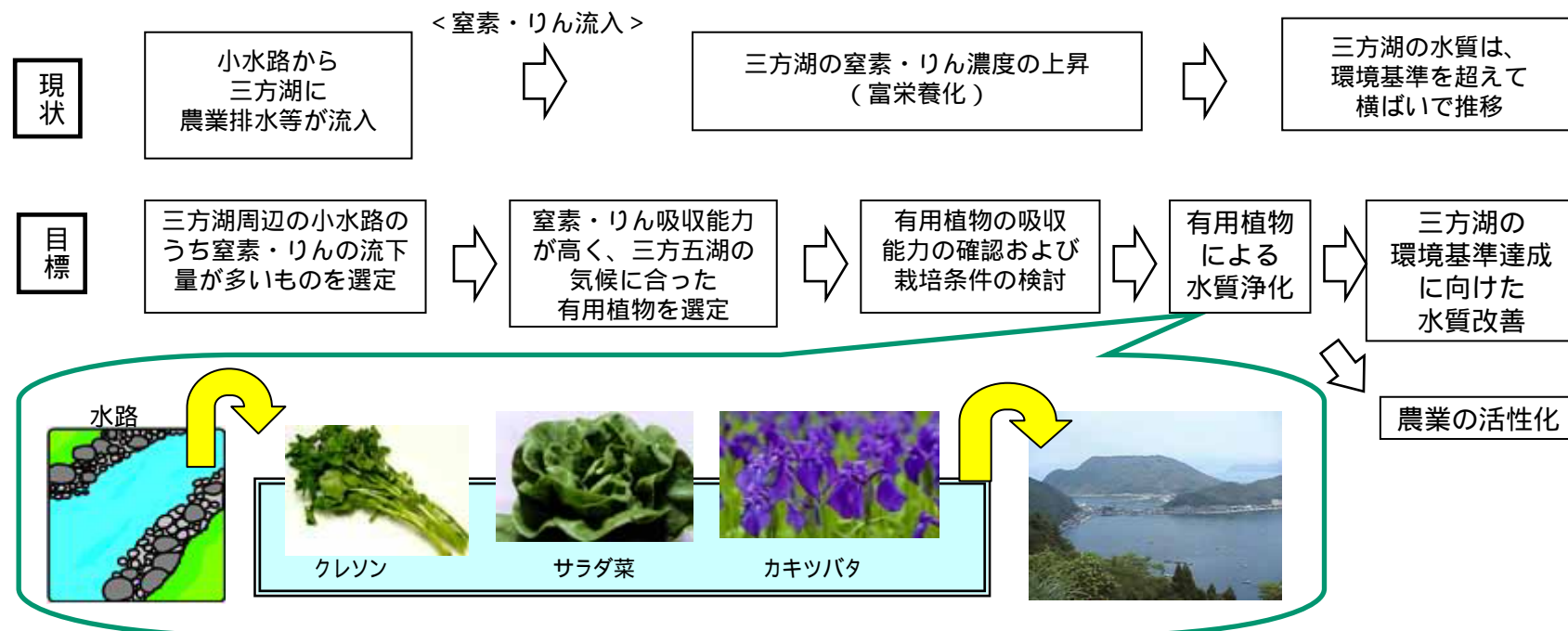
（様々な種類の有用植物の利用による安定した水質浄化）

三方五湖の気候に合った有用植物（野菜、花卉類）を特定する。

県内で栽培可能な有用植物の窒素、りん吸収能力を解明する。

4 要求額 2,601千円（財源：国庫10/10〔特別電源所在県科学技術振興事業費補助金〕）

有用植物等を用いた湖沼水質浄化に関する研究



＜成果目標＞

三方五湖の気候に合った、窒素・りん吸収能力の高い有用植物（野菜、花卉類）を選定し、有用植物を用いて、三方湖周辺の小水路からの窒素・りんを吸収する技術を開発することにより、湖沼の水質改善を図る。

また、有用植物の生産・販売により、農業の活性化に貢献する。

＜現状と今回の研究との比較表＞

	対象有用植物数	有用植物の選定数
現状	把握されていない	
今回の研究	実証試験：30種類	10種類程度